



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン
 コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	117,551	△0.0	2,919	△34.4	2,899	△36.4	1,875	△39.8
2019年3月期	117,572	△0.1	4,449	△14.1	4,560	△14.3	3,117	△14.8

(注) 包括利益 2020年3月期 1,883百万円 (△34.0%) 2019年3月期 2,854百万円 (△23.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	78.08	—	4.0	3.7	2.5
2019年3月期	129.77	—	6.9	5.7	3.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	78,050	47,664	61.1	1,984.02
2019年3月期	80,026	46,310	57.9	1,927.63

(参考) 自己資本 2020年3月期 47,664百万円 2019年3月期 46,310百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,389	△5,605	△2,500	13,260
2019年3月期	7,084	△6,081	△913	18,015

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期 末	第2四半期 末	第3四半期 末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00	528	17.0	1.2
2020年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00	552	29.5	1.2
2021年3月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00		23.0	

(注) 2020年3月期配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 1円00銭 (創業95周年記念配当)

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,100	0.2	600	—	500	—	300	—	12.49
通期	118,600	0.9	3,600	23.3	3,600	24.2	2,400	27.9	99.90

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	27,700,000株	2019年3月期	27,700,000株
2020年3月期	3,675,613株	2019年3月期	3,675,613株
2020年3月期	24,024,387株	2019年3月期	24,024,407株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	113,670	0.1	2,631	△30.8	2,895	△29.9	1,937	△32.4
2019年3月期	113,540	△0.3	3,803	△15.8	4,129	△10.1	2,863	△8.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	80.64	—
2019年3月期	119.21	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	76,974	47,848	62.2	1,991.67
2019年3月期	78,586	46,669	59.4	1,942.60

(参考) 自己資本 2020年3月期 47,848百万円 2019年3月期 46,669百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦等の不安定な海外情勢や、相次ぐ自然災害、記録的暖冬、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の停滞等、景気下振れリスクの高まりから減速傾向が強まり、先行き不透明感を一層深めるものとなりました。

菓子・飲料・食品業界では、原材料価格、各種コストの高止まり等に加え、消費税増税等による消費マインドへの影響により、依然として節約志向が続きました。

このような中で、当社グループは一貫して食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、働き方改革のほか共働き世帯の増加などのワーク・ライフ・バランスの変化、高齢社会の進行や単身世帯の増加による人口構造の変化など、消費者の購買行動や嗜好の多様化に伴い、変容する顧客のニーズをいち早く捉え、求められる価値の実現に機敏かつ柔軟に取り組みました。きめ細かい店頭フォロー活動や地域のニーズに合わせた企画提案型の営業活動、品揃えの強化と付加価値を高めた魅力のある商品開発を通して、お客様の満足につながる活動を推進してまいりました。

その結果、天候の影響を受けた品目があったものの、ビスケット品目、チョコレート品目、スナック品目などが順調に推移したことから、売上高は前期並みの推移となりました。

利益面においては、生産性の向上、コストの削減、経費の効率的な使用に取り組んだものの、競争激化による販売促進費の増加や物流費用の増加に伴い営業利益は前期を下回りました。加えて為替差損の影響により経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も前期を下回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、112,271百万円（対前期比101.4%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、マイベネフィット商品群において、ひとくちサイズで濃厚な味わいのチーズケーキ「120gミニバイクドチーズケーキ」、バニラクリームをパイとウエハースではさみ、ミルクチョコレートでコーティングした「110gミニ Milfie ユショコラ」を発売し好評をいただきました。加えて「プチ」シリーズでは、毎月24日を「ブルボン・プチの日」、毎年6月24日を「プチクマの日」に制定し、各種キャンペーンの実施とともに積極的な商品展開を行いました。さらに「チョコあ〜んぱん」をラスクにした「チョコあ〜んぱんラスク」を発売し、ブランドの活性化を図りました。また、季節に合わせた商品展開として、抹茶、サマーフルーツ、夏塩、いも・栗、ホワイト、いちごなどの各種フェア商品を発売し、店頭での露出を高めたお客様を飽きさせない売り場づくりを提案しました。「128gミニ濃厚チョコブラウニー」が引き続き好調に推移しマイベネフィット商品群が伸張したことと、オリジナルビスケット商品群、ファミリーサイズ商品群、パーティ商品群が順調に推移しました。

スナック品目は、「プチポテト」シリーズにじゃがバター風味やマルゲリータピザ風味、わさび味などの新味や、ルート限定商品を発売しシリーズの拡販を図りました。また、濃厚なチーズクリームをかけたポテトスナック「チーズジャガ」シリーズに、ピザ味やスパイスパー味、カマンベール仕立てを発売し品揃えの強化を図りました。一方で、手軽にプロテインを摂取できる「プロテインチャージえんどう豆スナック うましお味」を発売し、健康志向のニーズに応える商品展開を行いました。

チョコレート品目は、「ルマンド」のおいしさはそのままに、ギュッとつままったクレープ生地をチョコレートで包んだパウチタイプ商品「ひとくちルマンド」を発売しました。「アルフォートミニチョコレート」シリーズにおいてはメープルを品揃えするとともに、キャンペーン等のプロモーション展開を行いブランド強化に取り組みました。また、カップスナック商品群では「じゃがチョコ」シリーズで、季節に応じた商品展開を行ったことに加え、通常品の1.5倍の量のチョコレートをコーティングした「じゃがチョコグランデ」を発売し品揃えの強化を図りました。冬期限定の「生チョコトリュフ」シリーズをリニューアルしたほか、「粉雪ショコラ」シリーズは、デザインの刷新と品質改善に取り組みました。板チョコレート商品群が伸び悩んだものの、袋チョコレート商品群、小箱チョコレート商品群が伸張しました。

以上、既存品が伸び悩んだ品目があったものの、ビスケット品目を中心としてスナック品目、チョコレート品目などが順調に推移したことから、菓子全体では前期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、5,280百万円（対前期比77.1%）となりました。

飲料品目は、ミネラルウォーター商品群において各自治体等の協力のもと商品化した「防災天然水」を販売したほか、人気キャラクターをデザインした商品のリニューアルを行いました。また、「おいしいココナッツミルク」シリーズに、ルート限定商品を発売しブランドの認知拡大を図りましたが、天候の影響を受けた品目があり、前期を下回りました。

食品品目は、時短ニーズにお応えしたアイデア商品「かんたんクッキング」シリーズを発売しました。健康志向の高まりを受け「120gしょうがココア」や「120gミルクココア繊維習慣」の取り扱いが拡大しました。また、脱プラスチック化等の環境問題への対応として、ストローとしても使用できるクッキー「コロネクッキー」を発売しました。機能性食品では、成長期のお子様向け栄養機能食品「セノビックパーココア味」やタンパク質と10種のビタミンを手軽に摂取できる「プロテインバーチョコレートクッキー（WG）」を発売しました。「スローパー」商品群にも継続して好評をいただきましたが、既存品の伸び悩みにより前期を下回りました。

冷菓品目は、より一層ルマンドの味わいをお楽しみいただけるよう「ルマンドアイス」のリニューアルを行ったほか、「ルマンドアイスストロベリー」や、地域限定で「ルマンドアイス抹茶」を発売しブランドの認知向上に努めました。また、当社飲料の味わいをイメージしたモナカアイスを発売し品揃えの強化に努めたものの、競争激化の影響により既存品が伸び悩んだことから前期を下回りました。

その他では、通信販売事業は、季節に合わせた商品の展開と魅力のある品揃えを強化し、顧客の拡大とリピーターの増加に取り組みました。

自動販売機事業は、多様な商品を取り扱うプチモールの設置環境の選択による収益性向上と効率化に取り組んだほか、設置の展開推進による台数の増加に伴って伸張しました。

また酒類販売事業は、季節に合わせた限定醸造商品「ALWAYS A WIT（オールウェイズ ア ヴィット）」などを発売し、クラフトビールの魅力を伝える商品展開を行いました。ナショナルブランド商品群の競争激化と輸出商品の伸び悩みなどにより、前期を下回りました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当連結会計年度の売上高は117,551百万円（対前期比100.0%）、営業利益は2,919百万円（対前期比65.6%）、経常利益は2,899百万円（対前期比63.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,875百万円（対前期比60.2%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は35,018百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,112百万円減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少があったことによるものです。固定資産は43,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,135百万円増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得があったことによるものです。

この結果、総資産は78,050百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,976百万円減少となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は23,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,856百万円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と短期借入金の減少があったことによるものです。固定負債は7,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ475百万円減少となりました。これは主に、社債および長期借入金の減少ならびに退職給付に係る負債の減少があったことによるものです。

この結果、負債合計は30,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,331百万円減少となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は47,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,354百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は61.1%（前連結会計年度末57.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は13,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,755百万円減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,389百万円（前期7,084百万円の収入、対前期比47.8%）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,733百万円、減価償却費4,333百万円、たな卸資産の増加額1,349百万円および仕入債務の減少額1,344百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5,605百万円（前期6,081百万円の支出、対前期比92.2%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,257百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,500百万円（前期913百万円の支出、対前期比273.6%）となりました。これは主に、短期借入金の減少額1,500百万円および配当金の支払額528百万円があったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	55.4	57.5	55.3	57.9	61.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	60.2	90.2	91.7	56.4	53.0
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (倍)	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	197.1	517.0	1,088.1	1,349.5	381.6

自己資本比率 : 自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 ÷ キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー ÷ 利払い

（注）1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フローおよび利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、国内外の情勢は不透明さを一段と深め、企業活動の制限による企業収益の悪化、それに伴う世界経済への影響が予想されます。また、菓子・飲料・食品業界においては、外出自粛等による在宅機会の増加から一定の需要は見込まれるものの、景気後退懸念等の将来不安や力強さを欠く消費マインド等により、消費者の生活防衛意識は継続するものと考えられます。

なお当社では、現時点において新型コロナウイルスの感染拡大による製造ならびに販売面での大きな影響はありません。次期の業績予想につきましては、発表日現在での入手可能な情報に基づき算出しております。今後の感染拡大により業績予想等に著しい変動が生じた場合には、速やかに開示いたします。

今後も感染予防・拡大防止策等を徹底し、従業員の安全確保を最優先に取り組みと同時に、お客様への商品の安定供給に努めてまいります。

当社グループは、引き続きSDGs、ESGを常に意識し、食品製造企業として品質保証第一主義に徹するとともに、安定した原材料調達と安定供給体制の確立、IoT等を活用した最新の生産システムの構築、原材料のトレーサビリティ、フードセーフティーへの取り組み強化などにより安全、安心な品質を確保することで、より一層の品質保証体制のレベルアップに取り組んでまいります。また、「心と体の健康づくり」をテーマに、食を通じた健康づくりの提供のほか、文化・芸術活動やスポーツ、次世代育成の支援活動にも取り組んでまいります。さらに、社会的にニーズが高まっている「健康」というテーマを、新しいビジネスの展開や、飛躍へのチャンスとして、持続可能な未来社会をデザインしていく健康増進総合支援企業として社会への貢献を目指してまいります。

商品開発面では、特定保健用食品、機能性表示食品、栄養調整食品など生活習慣病予防のための当社グループの「薬食未病」の概念に基づく研究開発の強化・推進などを図る一方で、従来の発想にとらわれない新たな挑戦も継続してまいります。さらに、社会構造の変化やライフスタイルの変化、消費活動の多様化の進行による新たなニーズへの対応、新しい原材料開発による高付加価値商品、高品質で実質価値の高い商品ブランドの育成、新カテゴリー商品の開発にも注力してまいります。

営業活動面では、各流通チャネルのニーズや要望にお応えした積極的な企画提案ならびに新製品の開発を進め、顧客の期待を超える商品とサービスの提供を目指してまいります。また、自動販売機プチモールや通信販売などの販売チャネルの展開推進と、製造・配送・販売が一体となった次世代プラットフォーム構築への挑戦、チルド商品や冷菓など異なる温度帯の商品展開、グローバルマーケットを視野に入れた事業展開に加え、お客様との接点である店頭を重視したマーケティング、地域に密着した細やかな営業活動にも取り組んでまいります。

利益面では、時代の変化と要請とを先取りした新たな価値と需要の創造、ビッグデータを活用した生産性の向上と生産システムの省人化、コスト削減活動、経費の効率的な使用、省資源・省エネルギー活動などの強化に加え、高品質・高付加価値商品による市場の活性化、効果的な販売促進活動などを行うことにより、一層の利益の確保に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,878	13,141
受取手形及び売掛金	14,060	13,066
有価証券	136	118
商品及び製品	3,674	4,599
仕掛品	501	555
原材料及び貯蔵品	2,430	2,796
その他	460	744
貸倒引当金	△12	△4
流動資産合計	39,130	35,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,025	32,374
減価償却累計額	△16,832	△17,009
建物及び構築物 (純額)	14,193	15,365
機械装置及び運搬具	50,522	52,646
減価償却累計額	△39,477	△41,569
機械装置及び運搬具 (純額)	11,044	11,076
工具、器具及び備品	4,373	4,407
減価償却累計額	△3,963	△3,986
工具、器具及び備品 (純額)	410	421
土地	6,766	6,766
リース資産	1,109	1,240
減価償却累計額	△576	△648
リース資産 (純額)	532	591
建設仮勘定	760	1,845
有形固定資産合計	33,707	36,066
無形固定資産		
ソフトウェア	320	335
のれん	1,205	1,091
その他	61	61
無形固定資産合計	1,587	1,488
投資その他の資産		
投資有価証券	2,817	2,616
繰延税金資産	2,430	2,509
その他	353	350
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	5,601	5,476
固定資産合計	40,896	43,031
資産合計	80,026	78,050

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,095	10,744
短期借入金	1,500	—
1年内返済予定の長期借入金	250	200
1年内償還予定の社債	—	100
リース債務	218	248
未払金	2,821	3,435
未払費用	5,887	5,655
未払法人税等	974	944
賞与引当金	1,164	1,182
返品引当金	47	36
その他	1,150	707
流動負債合計	26,110	23,254
固定負債		
社債	100	—
長期借入金	450	250
リース債務	356	392
繰延税金負債	505	504
役員退職慰労引当金	239	237
退職給付に係る負債	5,937	5,731
負ののれん	17	16
固定負債合計	7,606	7,131
負債合計	33,716	30,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	39,792	41,140
自己株式	△941	△941
株主資本合計	46,678	48,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	50
為替換算調整勘定	△398	△314
退職給付に係る調整累計額	△261	△97
その他の包括利益累計額合計	△368	△360
純資産合計	46,310	47,664
負債純資産合計	80,026	78,050

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	117,572	117,551
売上原価	69,120	69,011
売上総利益	48,452	48,540
販売費及び一般管理費	44,002	45,620
営業利益	4,449	2,919
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	63	62
受取保険金	30	22
負ののれん償却額	1	1
その他	116	93
営業外収益合計	217	185
営業外費用		
支払利息	9	8
減価償却費	25	18
為替差損	58	153
その他	13	25
営業外費用合計	105	205
経常利益	4,560	2,899
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	138	0
特別利益合計	139	3
特別損失		
固定資産処分損	73	82
減損損失	0	0
災害による損失	—	26
投資有価証券評価損	70	58
その他	4	1
特別損失合計	149	168
税金等調整前当期純利益	4,550	2,733
法人税、住民税及び事業税	1,435	909
法人税等調整額	△1	△51
法人税等合計	1,433	858
当期純利益	3,117	1,875
親会社株主に帰属する当期純利益	3,117	1,875

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,117	1,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△418	△241
為替換算調整勘定	171	84
退職給付に係る調整額	△16	164
その他の包括利益合計	△263	7
包括利益	2,854	1,883
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,854	1,883
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	37,203	△941	44,089
当期変動額					
剰余金の配当			△528		△528
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,117		3,117
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	0	2,589	△0	2,588
当期末残高	1,036	6,790	39,792	△941	46,678

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	710	△569	△245	△104	43,984
当期変動額					
剰余金の配当					△528
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,117
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△418	171	△16	△263	△263
当期変動額合計	△418	171	△16	△263	2,325
当期末残高	292	△398	△261	△368	46,310

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	39,792	△941	46,678
当期変動額					
剰余金の配当			△528		△528
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,875		1,875
自己株式の取得					
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,347	—	1,347
当期末残高	1,036	6,790	41,140	△941	48,025

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	292	△398	△261	△368	46,310
当期変動額					
剰余金の配当					△528
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,875
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△241	84	164	7	7
当期変動額合計	△241	84	164	7	1,354
当期末残高	50	△314	△97	△360	47,664

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,550	2,733
減価償却費	4,161	4,333
のれん償却額	114	114
受取利息及び受取配当金	△66	△67
負ののれん償却額	△1	△1
支払利息	5	8
為替差損益 (△は益)	32	125
投資有価証券売却損益 (△は益)	△138	△0
固定資産処分損益 (△は益)	73	78
減損損失	0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	70	58
売上債権の増減額 (△は増加)	441	989
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△92	△1,349
仕入債務の増減額 (△は減少)	△431	△1,344
未払費用の増減額 (△は減少)	243	△215
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△22	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	31
その他	△173	△1,217
小計	8,744	4,276
利息及び配当金の受取額	66	67
利息の支払額	△5	△8
法人税等の支払額	△1,720	△945
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,084	3,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,124	△5,257
投資有価証券の取得による支出	△185	△213
投資有価証券の売却による収入	311	2
その他	△82	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,081	△5,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	△1,500
長期借入金の返済による支出	△200	△250
社債の発行による収入	99	—
リース債務の返済による支出	△264	△222
配当金の支払額	△528	△528
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△913	△2,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72	△4,755
現金及び現金同等物の期首残高	17,942	18,015
現金及び現金同等物の期末残高	18,015	13,260

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,927円63銭	1,984円02銭
1株当たり当期純利益	129円77銭	78円08銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,117	1,875
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	3,117	1,875
期中平均株式数 (千株)	24,024	24,024

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,912	12,282
受取手形	112	80
売掛金	13,556	12,750
有価証券	136	118
商品及び製品	3,263	4,144
仕掛品	408	484
原材料及び貯蔵品	2,030	2,398
前払費用	99	123
短期貸付金	1,417	1,364
未収入金	602	999
その他	263	46
貸倒引当金	△1,243	△1,213
流動資産合計	37,559	33,578
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,883	29,048
減価償却累計額	△14,486	△14,596
建物(純額)	13,397	14,452
構築物	2,757	2,936
減価償却累計額	△1,969	△2,045
構築物(純額)	788	891
機械及び装置	49,427	51,564
減価償却累計額	△38,566	△40,650
機械及び装置(純額)	10,861	10,913
車両運搬具	203	190
減価償却累計額	△176	△171
車両運搬具(純額)	26	19
工具、器具及び備品	3,452	3,567
減価償却累計額	△3,099	△3,198
工具、器具及び備品(純額)	353	369
土地	6,747	6,747
リース資産	1,044	1,174
減価償却累計額	△543	△617
リース資産(純額)	501	556
建設仮勘定	758	1,844
有形固定資産合計	33,433	35,794
無形固定資産		
のれん	1,092	988
ソフトウェア	320	335
その他	60	60
無形固定資産合計	1,473	1,384

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,672	2,481
関係会社株式	998	998
出資金	2	2
関係会社出資金	0	0
関係会社長期貸付金	2,454	2,452
長期前払費用	14	3
繰延税金資産	2,050	2,192
その他	295	300
貸倒引当金	△2,370	△2,215
投資その他の資産合計	6,119	6,216
固定資産合計	41,026	43,395
資産合計	78,586	76,974

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,400	1,305
買掛金	10,914	8,823
短期借入金	1,964	1,395
1年内返済予定の長期借入金	250	200
1年内償還予定の社債	—	100
リース債務	208	236
未払金	2,461	3,248
未払費用	5,554	5,356
未払法人税等	888	893
預り金	893	487
賞与引当金	1,027	1,043
返品引当金	47	36
その他	180	159
流動負債合計	25,792	23,286
固定負債		
社債	100	—
長期借入金	450	250
リース債務	333	366
退職給付引当金	4,983	4,969
役員退職慰労引当金	239	237
負ののれん	17	16
固定負債合計	6,124	5,838
負債合計	31,916	29,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金		
資本準備金	52	52
その他資本剰余金	10,012	10,012
資本剰余金合計	10,064	10,064
利益剰余金		
利益準備金	259	259
その他利益剰余金		
別途積立金	25,030	25,030
繰越利益剰余金	11,521	12,930
利益剰余金合計	36,810	38,219
自己株式	△1,538	△1,538
株主資本合計	46,373	47,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	295	66
評価・換算差額等合計	295	66
純資産合計	46,669	47,848
負債純資産合計	78,586	76,974

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	113,540	113,670
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	3,112	3,079
当期商品仕入高	10,667	10,408
当期製品製造原価	56,667	57,368
合計	70,447	70,857
他勘定振替高	523	338
商品及び製品期末たな卸高	3,112	3,972
たな卸資産廃棄損及び評価損	32	27
小計	66,843	66,573
返品引当金繰入額	47	36
返品引当金戻入額	32	47
売上原価合計	66,858	66,562
売上総利益	46,682	47,107
販売費及び一般管理費		
販売促進費	25,369	26,512
運送費及び保管費	6,805	7,213
広告宣伝費	2,093	2,260
給料及び手当	3,467	3,421
賞与引当金繰入額	274	271
退職給付費用	177	186
減価償却費	595	613
のれん償却額	104	104
その他	3,991	3,892
販売費及び一般管理費合計	42,879	44,476
営業利益	3,803	2,631
営業外収益		
受取利息	10	15
受取配当金	62	60
受取賃貸料	491	514
受取保険金	30	12
貸倒引当金戻入額	24	177
為替差益	104	—
負ののれん償却額	1	1
その他	115	87
営業外収益合計	839	870
営業外費用		
支払利息	17	18
貸貸収入原価	466	485
為替差損	—	68
その他	29	34
営業外費用合計	513	606
経常利益	4,129	2,895

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	138	0
特別利益合計	139	3
特別損失		
固定資産処分損	73	81
減損損失	0	0
災害による損失	—	16
投資有価証券評価損	70	58
その他	4	1
特別損失合計	149	158
税引前当期純利益	4,119	2,740
法人税、住民税及び事業税	1,256	843
法人税等調整額	△0	△40
法人税等合計	1,255	802
当期純利益	2,863	1,937

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	9,186	34,475	△1,538	44,038
当期変動額										
剰余金の配当							△528	△528		△528
当期純利益							2,863	2,863		2,863
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分			0	0					0	0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	0	0	—	—	2,335	2,335	△0	2,335
当期末残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	11,521	36,810	△1,538	46,373

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	708	708	44,747
当期変動額			
剰余金の配当			△528
当期純利益			2,863
自己株式の取得			△0
自己株式の処分			0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△412	△412	△412
当期変動額合計	△412	△412	1,922
当期末残高	295	295	46,669

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	11,521	36,810	△1,538	46,373
当期変動額										
剰余金の配当							△528	△528		△528
当期純利益							1,937	1,937		1,937
自己株式の取得										-
自己株式の処分										-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	1,408	1,408	-	1,408
当期末残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	12,930	38,219	△1,538	47,782

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	295	295	46,669
当期変動額			
剰余金の配当			△528
当期純利益			1,937
自己株式の取得			-
自己株式の処分			-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△229	△229	△229
当期変動額合計	△229	△229	1,179
当期末残高	66	66	47,848